

平和について考え、学ぶ



4月22日(月)に高知県の高知大附属中学校が真志喜区、真栄原区、宜野湾区、長田区の各公民館、5月17日(金)に三重県の東員第一中学校が野嵩1区、普天間1区、普天間3区、喜友名区の各公民館をそれぞれ訪れ、平和学習を行いました。両中学校はともに、毎年修学旅行で来県し、市の自治会の協力を得て平和について学んでいます。今回も地域の方々から、戦争体験や今も続く普天間基地被害について話を聞きました。生徒たちは、あらためて平和の尊さを感じていました。



本土復帰41年 5・15 平和とくらしを守る県民大会



5月19日(日)、市海浜公園屋外劇場において、「復帰41年 5・15平和とくらしを守る県民大会」が開催されました。本島では、17日(金)から3日間の日程で行われた平和行進を県民大会で締めくくりました。沖縄県が本土に復帰して41年経過した現在も、過重な基地負担、危険性の指摘されるオスプレイの配備、度重なる米軍人による事件・事故などが続いています。変わらぬ現状からの脱却と平和な沖縄の実現を県内外に訴えました。



防災行政無線放送が屋外放送後24時間以内において確認できます。☎ 896-2401

こみゆにてい 見聞録

地域のいろいろな話題を紹介します。

伝統を受け継ぐスンサーミー



4月21日(日)、地域の豊年と子孫繁栄を願う、我如古サングワチャー(豊年祭)が同公民館で開催されました。500年以上の歴史があり、市の無形民俗文化財にも指定されている伝統の踊り「スンサーミー」が披露されました。そのほかにも婦人会や老人クラブによる余興が披露され、会場は大いに盛り上がりました。

4・28沖縄大会



4月28日(日)、市海浜公園屋外劇場において、「4・28政府式典に抗議する『屈辱の日』沖縄大会」が開催され、約1万人(主催者発表)の市民・県民が参加しました。サンフランシスコ講和条約発効に伴い、沖縄県は1972年5月まで米国の施政権下に置かれました。戦後の沖縄の状況、歴史についてあらためて考える機会になりました。

全日本空手道選手権大会へ出場決定!



4月24日(水)、武現塾大山空手同好会が市役所を訪れ、全沖縄県空手道選手権大会で優勝、上位入賞を果たし、全日本少年少女空手道選手権大会へ出場することを佐喜眞市長へ報告しました。金城亮輝さんは「練習の成果を活かして、全国大会では多く勝利したい」とこれからの目標を話しました。

市体育協会新役員来訪!

5月14日(火)、宜野湾市体育協会の新役員が佐喜眞市長を表敬訪問しました。新たに就任した伊佐友孝会長は、「行政と連携しながら市民の健康・スポーツの普及を図りたいと思います。」と抱負を語りました。



まちをきれいに!市内一斉清掃活動



4月28日(日)子どもたちの未来の環を構築し、人と人の繋がりを大切にする美しい平和なまちづくりを目指すことを目的に、「クリーンインぎのわん“フューチャーリングワゴン”(市スポーツ少年団主催)が開催されました。市スポーツ少年団に所属する児童670人とその保護者290人が集まり、市内一円の清掃活動を行いました。児童はそれぞれの校区を清掃していき、自分たちの身近な道路がきれいになっていく様子に感動していました。みんなで協力して、約1tのごみが回収されました。

すくすく育て!こいのぼり掲揚式



4月24日(水)、児童福祉週間にあたり、市役所庁舎前において「こいのぼり掲揚式」が行われました。可愛保育園とクローバー・モンテッソーリインターナショナルの園児たちがこいのぼりを掲揚し、元気いっ

ぱいにおゆうぎと歌を披露しました。子どもたちの愛らしい姿に会場は和やかなムードに包まれました。

また、市民ギャラリーでは、市内児童センターと学童クラブ利用児童の作品展示もあり、すこやかにのびのびと育つ子ども達の活動が紹介されました。

子どもは社会の宝です。すべての子どもが家庭や地域において、豊かな愛情に包まれながら、夢と希望をもって、未来の担い手として、個性豊かに、たくましく育っていきけるような環境・社会をつくっていきましょう。

